



問題の所在

- 北陸地方は「真宗王国」といわれるほど浄土真宗の信仰が厚い。

富山県富山市

- 仏教系宗教法人の割合
 - 浄土真宗→64.2%
 - 続いて曹洞宗→19.0%
 - (竹村2000)

信仰の偏りが大きい
→ 少数派宗教に着目する

問題の所在

儀式というものは生活を日常から浮揚させる結果、空間の中に顕在する価値をも含めて、生活のさまざまな価値を人間に認識させる機会となるのであるが、人間は、そのような働きをする儀式に、空間の枠組みが存在するしるしを刻みつけている(山本1988: p.57)

↓

儀式を行う宗教施設には場所の意味が生まれると考えられる

富山市内で、施設の選択が可能なキリスト教(プロテスタント)を対象とする

既存研究 コミュニティ形成

コミュニティの定義
「地域性と共同性を共通認識とした概念」(影山1998)

影山(1998)

- ニュータウンの新規住民の主婦が主体となってネットワークを結び、自分自身の存在価値を見出すために自分の時間を捻出して地域活動に参加していた。

→教会へ集まる人々にも同じことが言えるのではないか

既存研究 場所への愛着

「場所への愛着ができるためには時間が必要であるが、しかし、たんなる持続よりも、経験の特質と強さの方が重要である」(山本1988:p.316)

杉山(1999)

- 「駅前」に集まる若者は街路(空間)に新たな遊びと安らぎの場を発見し、「駅前」(場所)の求心力とある集団のそこに加わりたいという欲望が生まれている。

→教会という場所にも意味が与えられているのではないか

研究目的

- 浄土真宗の信仰が厚い富山市でキリスト教会に注目し、教会員への聞き取り調査や個人のライフヒストリーをもとにコミュニティ形成の過程を明らかにする。
- 教会という場所の意味を考察し、愛着がどのように生まれていくかを示す。

調査方法

- 教会の婦人会のメンバーを中心に15名の女性教会員へ聞き取り調査を行った

第1表 調査対象者属性

年齢層	人数	出身地	人数	職業	人数	結婚状況	人数	一掃に寄る人	人数	移動手段	人数
40代	1	10年目	0	専業主婦	13	専業主婦	3	なし	1	徒歩	4
50代	0	11~20年目	3	専業主婦	4	専業主婦	4	知人	1	自家用車(相乗り含む)	6
60代	4	20年以上	6	専業主婦	2	専業主婦	1	なし	0	バス	3
70代	0		0	専業主婦	1	専業主婦	0		0	不明	2
80代	0		0	専業主婦	0	専業主婦	0		0		0
計	15	計	19	計	19	計	18	計	18	計	15

(聞き取り調査より作成)

第2表 調査対象者の教会選択要因

教会に来るきっかけ	人数	目的の年齢	人数	キリスト教を信じるきっかけ	人数	富山市のほかの教会へ行ったことがある	人数
教会の方針	1	20代	1	教会の方針	3	ある	4
身内の紹介	2	10代	2	身内がクリスチャン	2	ある、礼拝にも参加した	4
知人の紹介	1	20代	0	知人がクリスチャン	1	ない	7
伝道集会など	3	30代	1	伝道集会、異業	3		
友の会	4	40代	3	伝道集会など	3		
自宅から近い	4	50代	2	友の会	4		
		60代	2				
		70代	2				
		80代	0				
計	19	計	19	計	18	計	18

(聞き取り調査より作成)

調査対象地 富山鹿島町教会

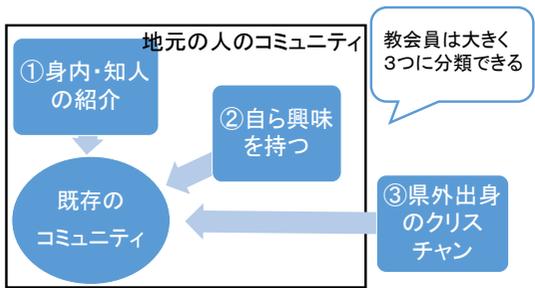
<概要>

- 富山市に複数あるプロテスタントの教会の1つ
- もっとも歴史がある
- 近くにほかの教会がある
- 過去に他教会との合同で礼拝を行っていた

<特徴>

- 毎週日曜日の礼拝には約80名集まる
- 女性が全体の3分の2から4分の3を占める
- 礼拝に参加する人の年齢層が高い
- 婦人会が結成され、他教会の婦人会との交流がある

コミュニティ形成の過程



考察 コミュニティ形成の要因

3種類の教会員が既存のコミュニティに入る要因

- キリスト教の教義、価値観
- 礼拝(皆で祈る・歌う・説教を聞く)
- 情報の共有(関係者の近況報告など)
- 交流を深めるイベントの開催(コンサート・クリスマス会など)

<婦人会に加入した場合>

- 勉強会で教義への理解を深める
- 悩み相談・情報交換

経験の蓄積と組織としてのまとまりを強める

教会の選択

- ほとんどの人が所属している教会にしか行かない
- 教会の選択理由に自宅からの距離、交流の有無は影響しない

市内には複数のキリスト教会や集会所が存在する

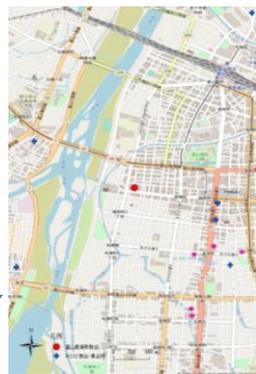


図1 富山鹿島町教会とほかの教会の位置 (タウンページより作成)

ライフヒストリーから

地元の教会員A,B

- 現状に疑問や不満を感じ、キリスト教に興味を持つ
- 家族との対立、宗教観の違い
- 地域や家との関係を重視する傾向がある

県外出身の教会員C

- 富山に来た当初は
- 富山に頼れる人がいなかった
- 地域に馴染めなかった
- クリスチャンであったため、教会への信頼があった

考察 場所の意味

宗教的な意味

- 神聖・祈りの場所

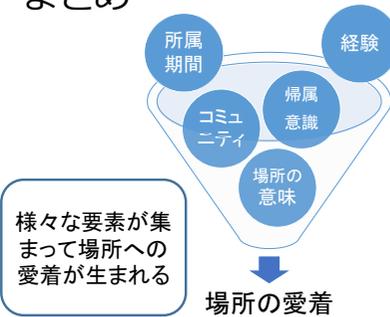
教会員にとって

- コミュニティ形成の場所

県外出身のクリスチャンにとって

- 頼れる人がいる場所

まとめ



参考

- イーファー・トゥアン著, 山本浩訳1988. 『空間の経験—身体から都市へ』筑摩書房.
- 影山穂波1998. ジェンダーの視点から見た港北ニュータウンにおける居住空間の形成. 地理学評論71(9):639-660.
- 杉山和明1999. 社会空間としての夜の盛り場—富山市「駅前」地区を事例として—. 人文地理51(4):396-409.
- 竹村一男2000. 末日聖徒イエス・キリスト教会受容の地域的差異に関する研究—山形・富山地域における事例を中心に—. 地理学評論73(3):182-198.
- 文化庁2016. 宗教年鑑 平成28年版

http://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/hakusho_nenjihokokusho/shukyo_nenkan/pdf/h28nenkan.pdf (2018年1月15日確認)